



## インターネットバンキング (オンラインバンキング)



インターネット上で、銀行など金融機関のサービスを利用すること、また、そのようなサービス。「ネットバンキング」「オンラインバンキング」と呼ぶこともあります。

パソコンの場合、インターネットで銀行のWebサイトにアクセスしてサービスを利用します。スマートフォンなどモバイル端末の場合、Webサイトにアクセスするほか、各銀行が配布する専用のアプリケーションを使ってサービスを利用します。モバイル端末からインターネットバンキングを利用すること、またそのようなサービスを、「モバイルバンキング」と呼ぶこともあります。

インターネットバンキングによって利用できるサービスは、おもに「残高照会」「入出金履歴の確認」「(銀行から銀行への)振り込み」「(普通預金口座から定期預金口座などへの)振り替え」の4つが基本です。

自宅や会社にいながらこうしたサービスを利用することができるため、銀行窓口やATMへ行く手間が省け、また、土日や休日、早朝や夜間などの日時を気にする必要がありません。銀行側も、実店舗の運営費や通帳の維持費、人件費などのコストを抑えることができます。

しかし、インターネットならではの危険も多く存在します。たとえば、情報端末内に不正に侵入した「スパイウェア」によって、口座番号やパスワードなどの情報が収集され、本人の気づかぬうちに外部へ送信されてしまうケースです。また、近年は偽メールや「マルウェア」(悪意のあるソフトウェア)によって利用者をだまして口座番号やパスワードなどの情報を入手する「フィッシング詐欺」が深刻化しています。スパイウェアやマルウェアなどによって別の口座へ不正に送金する「不正送金問題」は年々、大幅に増加しています。



インターネット上で残高照会や振込を行うことができるインターネットバンキング



フィッシング詐欺では、本物のWebサイトに重なるように偽装ページを表示する手口も

もっと知りたい!



### サギ ≫ フィッシング詐欺

利用者をだまして口座番号やパスワードなどの情報を入手する手口。「大事なお知らせが届いています」「新サービス移行の手続きをお願いします」といった偽メールを送信し、偽装サイトへ誘導します。また、情報端末内にマルウェアを侵入させて本物のWebサイトに重なるように偽装ページを表示する手法も増加しています。各銀行のWebサイトに酷似しているため、ねらわれた利用者は何の疑いもなく情報を入力してしまうのです。

### フセイソウキンモンダイ ≫ 不正送金問題

不正な手口による送金は警察庁の発表によると、2013年の被害総額は約14億600万円、2014年の被害総額は約29億1,000万円と年々大幅に増加しています。銀行側も1分ごとにパスワードが変わる新技術を導入するなど対抗処置をとってきましたが、ログイン直後に偽のエラー画面が現れ、その画面に再度パスワードを入力することで不正送金が実行されてしまうなど、銀行側の技術と犯罪者側の技術のいたちごっこが続いている状態です。

### ≫ マネーロンダリング Money Laundering

不正送金によって集めたお金を海外へ送金するなど、口座を転々とさせることで出所をわからなくすること。資金洗浄。また、送金する際の中継役となる「運び屋」を「マネーミュール」と呼びます。「ミュール(mule)」とは、馬とロバの子である「騾馬(ラバ)」のことです。アルバイト感覚で海外送金を手伝い、気づかぬうちに犯罪に加担する運び屋を、性格がおとなしく労役に飼育されることの多いラバにたとえています。